

## 第1回小松川・平井地区中学校統合に向けた合同会議 議事録(要旨)

【日 時】令和元年 5月27日(月) 18:30~19:42

【場 所】小松川第一中学校 会議室

### 【主な内容】

#### 1 統合スケジュール案について：

- ・今年度の合同会議では、主に通学区域、学校名、学用品について検討していく。
- ・通学区域については、統合時期である令和4年4月に中学3年生となる現小学校6年生の学校選択制の希望調査の実施時期である10月までに決定したい。
- ・学校名については、10月以降もしくは通学区域と並行して検討を進めたい。
- ・令和2年度より統合準備委員会を設立し、統合校の教育方針、通学時の安全確認、学用品の準備等具体的な統合に向けて2年間かけて準備していく予定である。
- ・統合準備委員会では、検討する内容により学校部会とPTA部会を開催し、学校部会では経営方針、生徒の交流活動等の検討、備品等の調整を行い、PTA部会ではPTA組織構成、規約、主催行事の検討を行いたいと考えている。
- ・PTA・保護者へは、適宜説明会の開催やホームページを活用して情報提供を行っていく。
- ・7月に、地域の中学校3校、小学校6校のPTA役員会、保護者会で統合について情報提供を行っていく予定である。

#### 2 小松川・平井地域中学校統合計画(素案)について：

- ・統合に至った経緯、統合方針、今後の取り組みをまとめた統合計画を公表したいと考えており、素案を作成したので、ご意見を伺いたい。

#### 3 通学区域案について：

- ・本日は3つの案をお示しするが、まだ検討段階のものでご意見を伺いたいと考えている。

### 〔主な意見と回答〕

#### 1 小松川・平井地域中学校統合計画(素案)について：

小松川・平井地域学校統合計画(素案)では、「統合時期は、令和4年4月」と時期が示されるとともに「統合にあたり、通学区域を変更する」とも記載されている。これは、どのような解釈が正しいのか。

この記載の意味は、令和4年4月から通学区域を変更するということである。[事務局]  
それでは、現在の小学四年生の学校選択から変更するという解釈が正しいか。

現在の小学四年生が入学する時期が令和4年4月なので、そのタイミングで変更する予定である。[事務局]

小学校の通学区域も変更するのか。

今回は、小松川一中と小松川三中の統合校と小松川二中の通学区域のみ変更する予定である。  
[事務局]

中学校の在校生の生徒が、令和4年4月の統合時点で、もし住んでいる場所が別の中学校の通

学区域になった場合、転校しなければならないか。

在校生の生徒は、もし住まいの場所が別の学校の通学区域になっても、そのまま在籍している学校に通っていただくので、転校する必要はない。[事務局]

## 2 保護者への情報提供について：

今後は保護者にも丁寧な説明をお願いしたい。

保護者へは適切な時期での説明会の開催やホームページに議事録の要旨を掲載するなど丁寧な説明に努めていきたいと考えている。[事務局]

## 3 通学区域案について：

通学区域について、町会関係者や小学校のPTAから意見を聞く機会は設けられるのか。

まずは、合同会議で学校関係者の意見を伺い、別途適切な時期にPTA役員へ説明する機会を設けたいと考えている。町会の方々については、進捗状況に応じて報告したいと考えている。  
[事務局]

今後、統合後に学校間の生徒数のバランスが崩れた場合、再度学区域の再編が必要になるのか。

今後の人口推計もあるが、まずは令和4年における新しい学校の開校、新しい通学区域の設定等のバランスの中でお話したい。[事務局]

## 4 全体をとおして：

小松川二中也統合計画に入っただき、二つの学校が新校という案もよいのではないかと思う。統合校の建設予定地は、小松川一中、小松川三中ともに自分たちの通学区域ではない。従って、たとえ校名だけ統合しても恐らく両校の地域も学校に対する熱意が無くなるのではないかと思う。それならば、小松川・平井地域の中学校をそもそも新しいものにすることで、発想を変えてはどうかと考えた。

通学区域を変更することで、関係する町会も分かれてしまう。小松川・平井地域では町会のバックアップが欠かせない。両校のOBが応援しない風潮になってしまうと統合校が残念な状況になってしまうと思う。そうならないように小松川二中と統合校を共に新校にしてはどうかという提案である。

その案には反対である。

統合後の部活動はどうなるのか。

来年度の統合準備委員会で学校の先生を中心とした部会を設け、その中で検討を進めていければと考えている。[事務局]

今後意見集約をして決定事項などは多数決で決めていくのか。

多数決で決まるものではないと考えている。順序としては、案を提示し、意見をいただく流れにしたいと考えている。事務局が懸念している事項以外に気付かないものもあると思う。そういった事項への対処方法や代替案の検討を含めて意見を伺っていきたいと考えている。  
[事務局]

以上